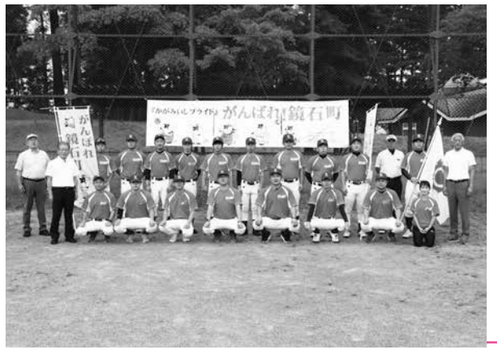
市町村対抗軟式野球大会に出場

がんばれ！町代表チーム



大会に向け気持ちを新たにする選手ら

第15回市町村対抗軟式野球大会に出場する、鏡石町チームの壮行会が8月29日㈰、鳥見山野球場で行われました。

遠藤栄作町長、佐藤靖弘町体育協会長から選手らに激励の言葉が贈られ、チームを代表して石森徹也副主将が「挑戦者の気持ちで一戦必勝で頑張りたい」と意気込みを語りました。鏡石町チームは9月18日㈯、本宮市のしらさわグリーンパーク野球場で只見町チームとの初戦に挑みます。

MF物流㈱がパーテーション寄贈

避難所運営時に役立てて

遠藤町長に目録を手渡す山野辺社長（右）

8月6日㈮、養生材の製造販売などを手掛けるMF物流㈱の山野辺康平社長が町役場を訪れ、災害時に役立ててほしいと避難所用パーテーション13基を町に寄贈しました。

町長室で山野辺社長から遠藤町長に目録が手渡され、遠藤町長は「大変ありがたい。有事の際は有効に活用させていただきたい」と話しました。

2021田んぼアート

観覧者数１万人達成

来場者1万人目となった武田さんご家族に記念品を手渡す和田実行委員長（右）

8月7日㈯、今年の田んぼアート観覧者数１万人を達成し、観覧場所の図書館４階展望室でセレモニーが行われました。

１万人目となったのは須賀川市の武田泰裕さんご家族で、かがみいし田んぼアート実行委員会の和田和久実行委員長から鏡石町産の桃、岩瀬農業高校産米を使用した無添加糀あまざけ、田んぼアートグッズが贈られました。

郡山開成学園と町の連携事業

アプリを使って食育講座

講話の後に行われた調理実習で、作り置きメニューの調理に取り組む参加者

8月7日㈯、郡山開成学園と町の連携事業の一環として「アプリを使って簡単・時短・作り置き食育講座」が町勤労青少年ホームで行われました。

郡山女子大学の亀田明美准教授や学生が講師を務め、参加者がスマートフォンの献立作成アプリを使用して、１週間分の献立や買い物リストの作成方法などを学んだほか、作り置きメニューの調理に取り組みました。

忠霊塔で戦没者黙祷式

平和への思い新たに

焼香する今泉会長（右）と遠藤町長

町遺族会（今泉健会長）は8月15日㈰、終戦の日に合わせて鏡石一小敷地内の忠霊塔で戦没者黙祷式を行いました。

遺族会や遠藤町長ら約20人が出席し、今泉会長が「英霊のご冥福、世界の平和と発展をお祈りします」とあいさつしました。出席者は正午のサイレンに合わせ、町の戦没者190余名に黙祷を捧げた後、焼香を行いました。

柔道・ソフトボール全国大会出場　３人にスポーツ激励金交付

柔道全国大会出場の木幡君（中央）と遠藤君（右）

ソフトボール全国大会出場の桐原君（右）

7月30日㈮、全国大会に出場する鏡石一小6年生の3人に対し、遠藤町長から激励金が贈られました。

●木幡結翔君・遠藤有純君（郡山市柔道会）
（1）2021年度第18回全国小学生学年別柔道大会
　8月29日㈰　大阪府堺市
（2）第41回東北ブロックスポーツ少年団柔道交流大会
　11月27日㈯～28日㈰　青森県弘前市
●桐原勝誠君（須賀川牡丹ソフトボールスポーツ少年団）
（1）第35回全日本小学生男子ソフトボール大会
　8月7日㈯～10日㈫　滋賀県守山市

パラリンピック聖火フェスティバルに合わせ

聖火の種火起こしに挑戦

種火起こしに挑戦する大野さん（手前）と渡辺さん（奥）

8月9日㈪、パラリンピック開幕に合わせた聖火の種火起こしが町構造改善センターで行われました。

パラリンピックの聖火は、全国の市町村で採火された火を一つにして作られます。鏡石町では、町内のパラスポーツ団体「TEAMまきばの朝」の大野翔さんと渡辺想星さんがマイギリ式の火起こしに挑戦し、起こした種火を炎にして専用のランタンへと移しました。

岩瀬農業高校園芸科学科の皆さん

町にベゴニアを寄贈

町にベゴニアのプランターを寄贈した岩瀬農業高校園芸科学科の皆さん

8月5日㈭、岩瀬農業高校園芸科学科の生徒らが町役場と鏡石まちの駅「かんかんてらす」にベゴニアのプランター20基を寄贈しました。

このプランターは、生徒が日ごろ様々な実習や活動でお世話になっている町や鏡石駅への感謝を込めて寄贈したもので、赤や白、ピンクの美しいベゴニアが役場来庁者や駅利用者の目を楽しませています。